

いわみざわ男女共同参画マガジン

ア・ライク

ア・ライク(A'like)～共に生きる～
〈同様の・等しく〉という意味を持ちます。

2008年 **VOL.6**



コンテンツ

- あなたはどのように考えますか
- 自分らしく生きるために
- あ・らいくな人
- 特集—配偶者暴力防止法が変わりました
- 男女共同参画市民フォーラムを開催

あなたはどのように考えますか？

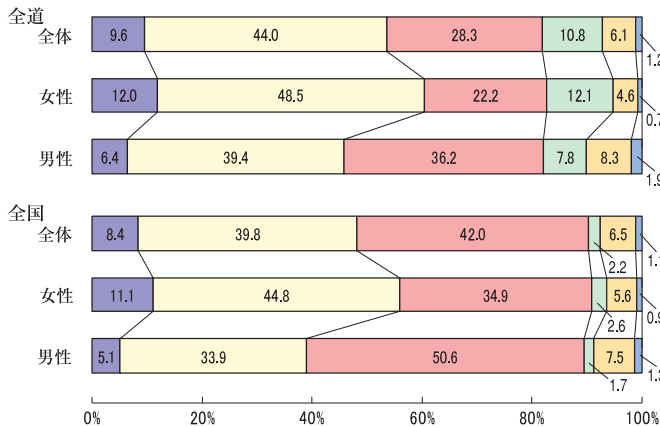
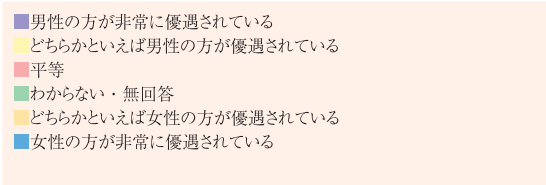
男女共同参画に関する世論調査の結果が公表されました。

内閣府大臣官房政府広報室は、男女共同参画社会に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とするため、平成19年8月に「男女共同参画社会に関する世論調査」を実施し、その結果を公表しました。

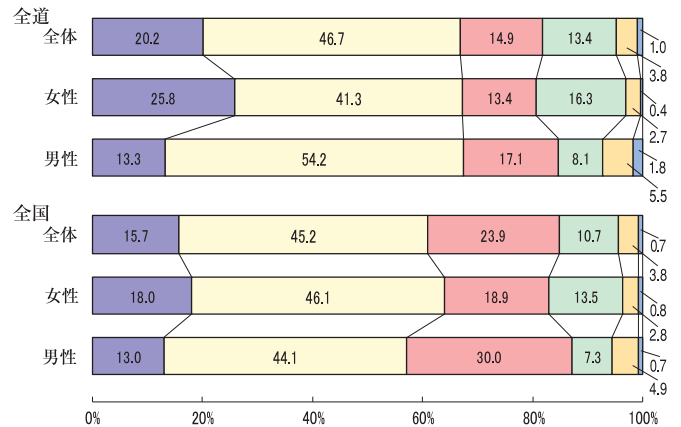
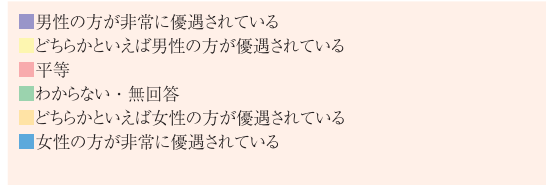
今回は、公表された調査結果の一部を、家庭や職場、地域活動の参考にしてもらうため、平成18年10月に実施した道民意識調査と比較して紹介します。

さて、あなたはどのように考えますか？

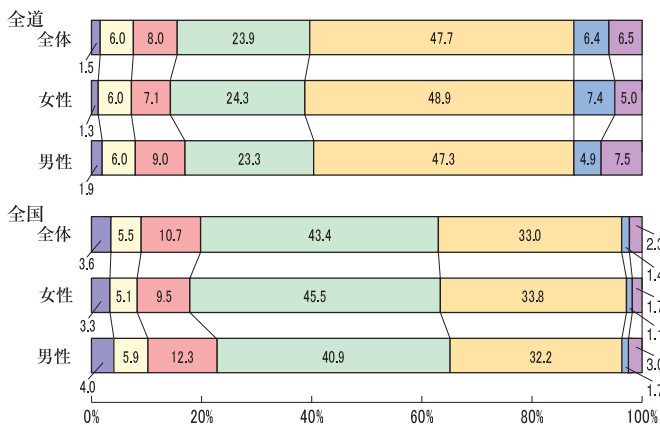
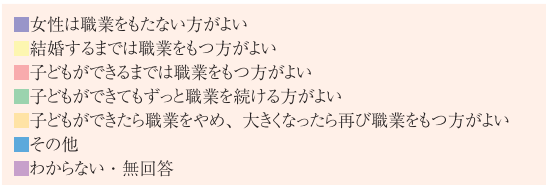
家庭における男女の地位の平等感



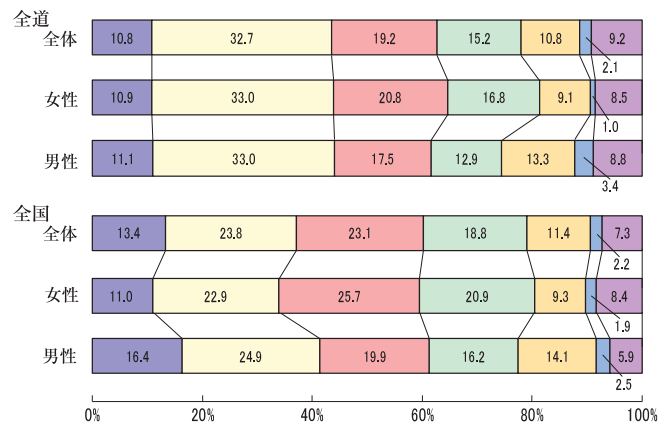
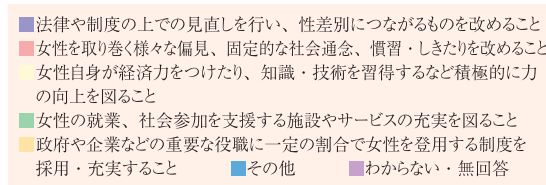
職場における男女の地位の平等感



女性が職業を持つことについての考え方



男女があらゆる分野で平等になるために重要なこと



資料出所：北海道知事政策部知事室広報広聴課「道民意識調査」（平成18年度）
内閣府「男女共同参画に繋がる世論調査」（平成19年度）

自分らしく生きるために

お互いを認め合うこと



協力し合うこと

今よりも少しだけ
肩の力を
抜いてみませんか…

自分らしく生きること



「私の夢は大工さん。
でも、パパったら、女の子らしい
仕事にしないかって言うの…どう
して女の子は大工さんになっちゃ
いけないのかなあ？」

「パパ、ちょっとお願い」
「赤ちゃんのおムツ取り替
えてくれない？」
「仕事で疲れて帰ってきた
ばかりなのに……」

男は仕事、女は家庭、家
事や育児は女性の役割と
決めつけていませんか？
子育ては夫婦の役割です。

「協力し合うこと…
それが、男女共同参画」

男の子だから、女の子だ
からということで、気づ
かないうちに区別してい
ることはありませんか？

「自分らしく生きること…
それが、男女共同参画」



「男女共同参画社会とは」

- 社会のあらゆる分野に男女が平等に関
わることができる社会です
- 性によって役割を固定せず、男女がと
もに参画することにより、責任と喜び
を分かち合える社会です
- 女性も男性も多様な選択肢の中で、自
分らしく、豊かで充実した人生を実現
できる社会です



「課長は仕事もできるし、
家でもテキパキと家事をこ
なすんでしょね！」
「と～んでもない！私ね、
掃除や洗濯が大の苦手なの。
我が家では夫が担当よ！」
「エー？！本当ですか？」
「二人で決めたのよ♥」

女性も男性も、家庭、
地域、職場、学校に
おいてバランスのと
れた生き方ができる
社会のことです。

「パパ、今日はママが遅
くなるんだって…」
「それじゃ、今夜はパパ
の手づくりハンバーグだ！」
「ヤッター！ぼくも手伝
うよ！」

女性だからといって、家事が得
意とは限りません。家庭は夫婦
の協働作業場です。

「お互いを認め合うこと…
それが、男女共同参画」



「男子厨房へ入らず！」
そんな考え、まだ持っていま
せんか？

「協力し合うこと…
それが、男女共同参画」

あいらんど

井上農園 代表 井上 豊子 さん



有機栽培にとことんこだわった、親子でつくる安心みそをどうぞ!

味噌づくりは、すいぶん前に農協婦人部の先輩たちに教えてもらい、自分たちが食べる分くらいは作っていました。ある時、市販されている味噌を買って食べたのですが、おいしいと感じませんでした。そのことがきっかけで、親しい人においしい味噌を食べてもらおうと思うようになり、平成9年に加工室を設けた家を新築して、本格的な味噌づくりを始めようになりました。私の農園は玉ねぎ栽培が専門です。自然の恵みを大切に、いくつもの約束を守ってつくられた食べ物を大切に味噌も化学肥料を使用しない安全な材料を使っています。安心・安全な有機栽培にこだわりの味噌を持ち、味噌も化学肥料を使用しない安全な材料を使っています。安心・安全を感じることが特にありませんが、大豆栽培の除害作業はちょっとだけ大変です。

こだわりの自家産大豆とお米が自然塩と出会い、おいしいお味噌になりました。安全、安心、おいしさを追求し、農薬を極力控え、有機質肥料のみを使用した安心みそができました。こうじ菌が生きています。



商品名・値段 :安心みそ 800g 650円(税込) 井上農園 井上 豊子 さん
お問い合わせ先:井上農園 井上 豊子 さん
岩見沢市北本町東10丁目6-10 ☎0126-22-4166

やすこの手作り味噌 代表 江場 矢寿子 さん

コーヒー感覚でスプーン1杯お飲みください!

酒造たコーヒーカップにスプーン1杯の味噌を入れ、静かにお湯を注ぎ目の前へ...工房にお参りすると、「コーヒー感覚でスプーン1杯お飲みください!」と言って、いつもお茶代わりに出しています。皆さん、おいしそうに飲んでくれるのが嬉しいですね!
嫁いで35年になりますが、母の味噌づくりを見ていて「私もおいしい味噌を作りたい。人に向けて喜んでもらいたい。」という思いが強くなって、農業普及所の指導を受けながら起業することになりました。平成11年1月、夫の理解のもと、現在の工房を開いて本格的な味噌づくりを始めました。

やすこの手作り味噌工房は、沢山の人が来てもらい、ゆっくりとくつろぎながら、楽しいおしゃべりができる場所にしたという思いから、広いスペースを設けました。これまで、そば打ちの講習会も開いています。以前、夫は冬になると出稼ぎに出ていたので、ひとり味噌づくりをしていますが、今では夫の年輪的なこともあって二人で作業をするようになりました。

味噌づくりで苦労したのは、こうじづくりと自家製大豆の確保です。初めの頃はこうじが思うようには出来なくて大変でしたが、おいしいと喜んでくださった皆さんの声で、吾輩は吹き飛びました!
店の中にある沢山の小物は、お客さまから送っていただいたものです。「飛行機の中で偶然味噌の記事を読みました」といって連絡をいただいたりから、ずっと応援して下さる方々と、少しずつですがお客さまが増えていくのは、本当に嬉しいことです。これからもこの工房で、得意のケーキを出したり、そば打ちを楽しんだり、皆さんに喜んでもらえる、喫茶店感覚の手作りのお店にしていきたいと考えています。



商品名・値段 :やすこの手作り味噌 900g 600円(税込) 岩見沢市北本町東696 ☎0126-55-3048
お問い合わせ先:江場矢寿子 さん

くりさわ手作りみそグループ 代表 長井 洋子 さん

仲良し4人組の楽しい会話が、おいしい味噌の隠し味!!



味噌づくりを始めたきっかけは、農協女性部の先輩たちが昭和63年から続けてきた味噌づくりをやめると聞いて、惜しいなと感えていたところに、続きをしませんかという話がかもち上がり、私たちが手を上げたことでした。私たちは多くの人に食べてほしいという思いから、平成10年、道の駒成金を基に個人でも出資して工房を建てました。今では、こだわりの手造り「手前みそ・黒ちゃんみそ・はと麦入りみそ」の3種類を作っています。塩以外の原材料(米、大豆、はと麦)はすべて自家製です。中でもはと麦は、北海道ではあまり作られていないため、自分たちで作っていることをなかなか信じしてもらえず、困ったことがあります。黒ちゃん味噌は黒大豆を使うので色が黒く、イベントに出すと珍しがられています。塩にもこだわりをもって赤龍の塩を使っていますが、年に数回ある特売日には、4人とも家族総出で(笑)買い出しに行っています。市販の味噌に比べ値段は高いですが、体に優しい安心・安全の無添加味噌という理解をしていただければ嬉しいですね!

味噌づくり始めて10年になりましたが、ここまで続けられたのは、夫や家族の理解と協力があったからだと思います。心から感謝です!
農業が忙しくなると体のあちこちが痛くなる、いつまで続くのかと悪い、若い人を仲間と一緒に育ててくれるのですが、私たちがとっての味噌づくりは、世間話や色々な情報交換ができる楽しい貴重な時間でもあり、体力の衰えを考えたらこの先心配になりますが、もう少し4人の輪を築きながらがんばりたいです。



商品名・値段 :こだわり母さんの手造り
・手前みそ 1kg 600円(税込) 黒ちゃんみそ 1kg 600円(税込) ・はと麦入りみそ 1kg 650円(税込)
お問い合わせ先:長井洋子 さん
岩見沢市栗沢町北斗1550 ☎0126-45-3845

がんばる元気な女性たち!!

食の安全が揺らいでいます。厳しい農業経営が続く中であつて、消費者に食の安全と安心を届ける活力ある農村を実現するには、農業や農村社会で重要な役割を果たし、消費者との交流にかかわりの深い農村女性の参画が不可欠です。
岩見沢市内には、農産物の直売や加工に関連する起業活動など様々な取組に挑戦し、元気に活躍している女性がたくさんいます。
今回は、無添加のおいしい手づくり味噌を販売している皆さんをご紹介しますが、いかがでしたか?

- *新しい家族が増えて3人で味噌づくりをするようになった井上さん一家
- *笑い声が絶えない仲良し4人組の、くりさわ手造りみそグループの皆さん
- *息もピッタリ、笑顔がステキな江場さんご夫妻

これからの情報をお待ちしています~

広島県のお客さまがキャッチフレーズを考えてくれました。
手ラシやパッケージも手作り、いつも、いつも、心のこもった温かい応援をいただいています。

やすこの手作り味噌 手作り 大豆・米・はと麦を使い、じっくり熟成させると3種類のおいしい手造り味噌ができました。



商品名・値段 :やすこの手作り味噌 900g 600円(税込) 岩見沢市北本町東696 ☎0126-55-3048
お問い合わせ先:江場矢寿子 さん

特

集

配偶者暴力防止法が変わりました!!

平成20年1月11日スタート

主な改正のポイント

保護命令制度の拡充、市町村に対する基本計画策定の努力義務を定めた「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（配偶者暴力防止法）」の一部改正法が平成19年度の通常国会で成立し、7月11日に交付され、平成20年1月11日に施行されました。

1 保護命令制度の拡充

1 生命・身体に対する脅迫を受けた被害者も保護命令の申し立てができます。

配偶者から、生命・身体に対する脅迫を受けた被害者が、将来、配偶者から受ける身体に対する暴力により、生命又は身体に対する重大な危害を受ける恐れが大きいと認められるときにも、裁判所は保護命令を発することができるようになりました。

2 被害者に対する電話・電子メール等が禁止されます。

被害者への接近禁止命令の実効性を確保するため、被害者の申し立てにより、被害者への接近禁止命令と併せて、裁判所は配偶者に対し、被害者に対する以下のいずれの行為も禁止する保護命令を発することができるようになりました。

- 1 面会の要求
- 2 行動の監視に関する事項を告げること等
- 3 著しく粗野・乱暴なこと
- 4 無言電話、連続しての電話・ファクシミリ・電子メール（緊急やむを得ない場合を除く。）
- 5 夜間（午後10時～午前6時）の電話・ファクシミリ・電子メール（緊急やむを得ない場合を除く。）
- 6 汚物・動物の死体等の著しく不快又は嫌悪の情を催させるものの送付等
- 7 名誉を害する事項を告げること等
- 8 性的羞恥心を害する事項を告げること等又は性的羞恥心を害する文書・図画の送付等

3 被害者の親族等も接近禁止命令の対象となります。

配偶者が被害者の親族等の住居に押し掛けて著しく粗野・乱暴な言動を行っていること等の事情があることから、被害者が配偶者と面会せざるを得なくなることを防止するため必要があると認められるときは、裁判所は、被害者の申し立てにより、被害者への接近禁止命令と併せて、被害者の親族等への接近禁止命令を発することができるようになりました。

2 市町村基本計画の策定

都道府県のみ義務付けられていた配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策の実施に関する基本計画の策定が、市町村の努力義務となりました。

3 市町村配偶者暴力相談支援センターの設置

市町村の適切な施設において、配偶者暴力相談支援センターとしての機能を果たすようにすることが、市町村の努力義務となりました。

女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク



配偶者等からの暴力、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪、売買春、ストーカー行為などの女性に対する暴力を根絶するためのマークです。

一歩前出る勇氣!!

■一人で悩まずに相談してください■

配偶者やパートナーからの暴力に悩んでいませんか？
相手の暴力を自分のせいだと思い込んだり、暴力を受けたことを恥ずかしいと思ったりしていませんか？

暴力は、加害者・被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありません。

女性に対する暴力は、多くの人々にかかわる社会的問題です。

男女共同参画市民フォーラムを開催

平成19年11月30日(金)「とも(男女)にめざそう 仕事と暮らしのハーモニー」をテーマに、平成19年度の市民フォーラムを開催しました。講師に、実践女子大学教授の鹿嶋敬さんをお招きして、「ワーク・ライフ・バランス 社会の形成～男女共同参画の視点から～」と題して様々な角度から分かりやすくお話をいただきました。引き続き行われたパネルディスカッション「私たちのワーク・ライフ・バランス～みんなが元気になるレシピ～」では、3人のパネリストそれぞれの立場から、大変参考になるお話を聞くことができました。

■なぜ今、ワーク・ライフ・バランスなのでしょう。

少子高齢社会が進む中、生産年齢人口の減少による女性の労働力の確保、様々な状況で子どもを産みたくても産めない、そういう人たちのために仕事と生活の調和が取れる社会を作ろうなど、ワーク・ライフ・バランスの背景には様々な課題が含まれています。しかしながら、少子化対策のためのワーク・ライフ・バランスであってはならないと考えています。



■少子化の原因は？

少子化の原因は、晩婚・晩産化、出生力の低下、教育費、機会費用などがあります。消極的な男性の家事・育児も原因のひとつですし、出産のために働く機会が失われることなどもあり、男女共同参画の視点抜きでは対応できません。

■男女共同参画のポイントは？

知識の普及が大切です。男女平等の国スウェーデンも、知識の普及を繰り返してきたことで、今のよう状況になったと理解して、嫌がられても構わないから、地域の皆さんに繰り返し言い続けていただきたいと思います。

■ワーク・ライフ・バランスを推進していく上で大切なことは？

女性にとって仕事と家庭生活の両立がしやすい社会を目指すのではなく、男性にとっても両立が可能な社会を目指すということです。また、正社員のための権利ではなく、非正社員にとっても大切な問題だという認識も必要です。やはり、男女共同参画という視点からのアプローチが必要です。



大澤 真津子さん (株式会社アイワード専務取締役)

業務内容は、企画メディア、情報処理、システム開発、本の印刷・製本などです。昭和49年、オイルショックで倒れそうになった会社を、社長と20名の社員で再建をはかり、今では社員が300名近くになりました。現在、12名の取締役のうち女性は5名、部長職も3名います。若い社員が多かったこともあり、子育てのために社員が力を合わせるの普通のこととして定着しています。全社員がワーク・ライフ・バランスを考えて仕事をするのは難しいと感じています。多くの情報を社員と共有し、女性や男性、障がいのある無しに関係なく、力を合わせて進めています。



梅木 あゆみさん (有限会社 コテージガーデン代表取締役)

12年前に4人の子どもを抱えながら起業し、「主婦の梅木さんが…」と、新聞などに話題を提供してきました。初めのうちは家事を100%こなし、趣味と半々で仕事をする元気なお母さんでしたが、今は朝ごはんを作るだけで、後はみな夫の仕事です。夫も会社を経営者していますが、私の働く時間が長かったこともあり自然にこうなっていました。これまでやってきたことに無駄なことはひとつもないと感じています。私の考えるワーク・ライフ・バランスは、20代、30代で子育て、40代は仕事、50代で社会への貢献ができればと思っています。

鳥谷部 寿人さん (北海道石狩川開発建設部地域振興対策室地域調整係長)

小学校の教員をしている妻が育児休業から職場復帰するとき、子どもの慣らし保育のために10日間の育児休暇を取得しました。男性の育児休暇の取得実績がほんの数例しかなく、また年度初めの忙しい時期でもあり、職場に負担をかけるなど不安もありましたが、全面的な協力を得ることができました。育児休暇の取得で、子育ての厳しさや喜びを実感できました。子育ては人間が人間としての成長に大切なことであるという、社会全般の理解が広まっていくことが必要ではないでしょうか。



ちよつとひと言...

ワーク・ライフ・バランスについて理解を深めることができました。

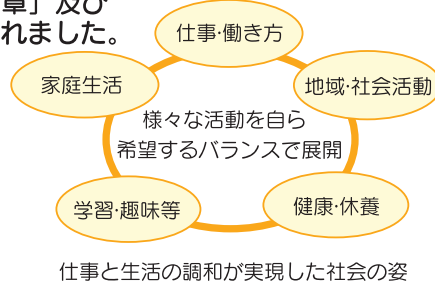
娘の家庭の子育て夫婦のあり方など、とても参考になりました。

育児の最中は農家でしたので、サラリーマンの生活が羨ましく思いましたが、どんな職業でも、みんな大変なのだ…と理解できました。

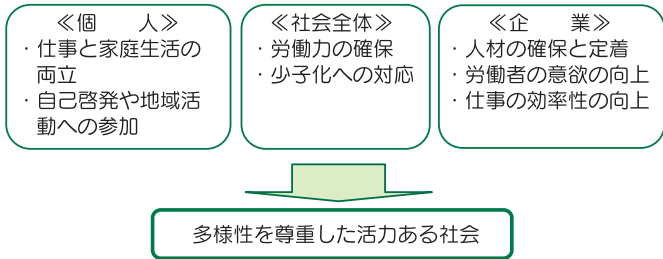


■「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」が策定されました。

「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」を目指して、平成19年12月、仕事と生活の調和の実現に官民一体となって取り組んでいくための方向性を示した「憲章」と、企業や働く者国民の効果的な取り組み、国や地方公共団体の施策の方針を定めた「行動指針」が策定されました。



ワーク・ライフ・バランスとは：
老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動を、自らの希望に沿った形で展開できる状態と定義されています。



■女性プラザ祭2007が開催されました。

平成19年11月15日(木) 会場：北海道立女性プラザ

午前中に開催されたワークショップでは、長年にわたって自主活動が続けてきた男女共同参画いわみざわが、中心市街地のにぎわい創造と子育て支援の観点から取り組んだ「子育て支援に関するニーズ調査報告」を行い、引き続き男女共同参画紙芝居を上演しました。声優として出演したメンバーの名演技に、会場は笑いと拍手に包まれました。その後、NPO法人お助けネット、むかわ町女性連絡協議会の活動報告が行われ、各地の活動状況を学ぶことができました。



午後からは、弁護士住田裕子さんによる「次の世代へのメッセージ 今私にできること」と題した講演があり、自身の体験を基にしながら、次世代へのメッセージとして男女共同参画社会づくりの大切さについて、国や民間での様々な取り組みなど貴重なお話を聞くことができました。前年度、当市で開催した市民フォーラムでの住田さんの講演を、なつかしく思い出しました。

実践プランの冊子ができました！

男女共同参画社会の実現と男女がともにいきいきと輝きながら暮らせる、市民が主役の人にやさしい温かい街づくりを目指し、平成19年に策定した「いわみざわ男女共同参画実践プラン」を着実に推進するため、具体的な取り組みを示した冊子とその内容を紹介したダイジェスト版を作成しました。

お友達やサークル、団体等の集まり、職場研修など、様々な機会を活用して学んでみませんか！皆さんのご希望に合わせた出前講座も実施しています。

冊子をご希望の方は企画室までお問い合わせください。



■ダイジェスト版の一部をご紹介します



お問い合わせは、市役所企画室まで（0126-23-4111 内線422）

編集後記

市町村合併から2年経ったア・ライクの取材は、今、社会的に注目を集めている食にスポットを当ててみました。

味噌づくりに長年かかわり起業した皆さんから、現状についてお話しをお聞きました。タイムリーな話題を提供できたと思います。お会いした皆さんから沢山のエネルギーもいただき、取材冥利に尽きたというひと言です。また、岩見沢市内の広さも実感できました。

ア・ライク VOL.6 2008年3月

発行 岩見沢市企画財政部企画室
〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号
TEL: 0126-23-4111(内線422)
E-mail: danjo@i-hamanasu.jp

企画・編集 岩見沢市男女共同参画情報誌編集委員会
(いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議)